

後期高齢者医療制度のしくみ・安定した制度で、高齢者医療を守るために

■ 困 保 険 年 金 課

後期高齢者医療制度は、都道府県ごとに設置された「広域連合」が運営しています。この制度には、75歳以上の人と、一定以上の障害により認定を受けた65歳以上の人が加入しています。

後期高齢者医療制度に加入している人（被保険者）の医療費の財源は、次のとおり国民全体で支え合っています。

- ▼公費（国・県・市町村が負担するお金） 約5割
- ▼支援金（75歳未満の人が負担するお金） 約4割
- ▼被保険者が納める保険料 約1割



医療費は、高齢化の進行や医療の高度化により、年々増加しています。医療費の増加は、この制度の財政を圧迫し、皆さんにご負担いただく保険料の増額につながっています。限りある財源を有効に活用するために、適正な受診を心がけましょう。

問い合わせ先 困保年金課

☎30・6112番、FAX 22・1398番、滋賀県後期高齢者医療広域連合 ☎077・527・3013番

医療機関にかかるときのマナー

～心がけましょう 適正受診～

- ▶ 同じ病気で、複数の医療機関を必要以上に受診するのは、できるだけ控えましょう。検査や投薬を重複して受けることにより、かえって体に悪影響を与える可能性があります。
- ▶ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、新薬と同等の効能を持ち、費用もおおむね安く済みますので、医療機関や調剤薬局で相談してみましょう。

市外からの移住者向け住宅ローン

■ 困 企 画 課



市では、将来的な定住人口の減少による地域の衰退に歯止めをかけるため、市外からの移住の促進に取り組んでいます。

滋賀銀行、滋賀中央信用金庫と連携し、3月から市外からの移住者向け住宅ローンを各金融機関で提供いただいています。

▼滋賀銀行「ひこね移住促進住宅ローン」
▼滋賀中央信用金庫「移住定住応援住宅ローン」は「ピーターン」

通常、ローンを組むためには一定の勤続年数が必要ですが、勤続年数が1年未満でも個別に対応するなど、移住希望者が利用しやすい内容になっています。

住宅を取得して市外から移住を考慮されている人が身近におられましたら、ぜひご利用をお勧めください。

問い合わせ先 困企画課 ☎30・6101番、FAX 221398番 各ローンの内容については 滋賀銀行 ☎077・521・2853番、滋賀中央信用金庫 ☎0748・347812番

意見公募手続制度 結果のお知らせ

男女共同参画 ひこねかがやきプランII(改定素案)	
意見の件数	1件
案の修正を行わないもの	1件
問い合わせ先 困人権政策課 ☎30-6113、FAX24-8577	

軽減割合が変わります 後期高齢者医療保険

■ 困 保 険 料 課

4月から保険料の軽減割合が左表のとおり変わります。対象は、後期高齢者医療保険制度に加入する前日まで健康保険などの被扶養者だった人、所得が低い人（※）です。

※総所得金額などから基礎控除額33万円を差し引いた額が58万円未満の人

保険料の軽減割合

変更になる保険料	現行	4月から
健康保険などの被扶養者だった人の均等割	9割	7割
所得が低い人の所得割	5割	2割

また、保険料の均等割額（被保険者全員が等しく負担する保険料）が5割または2割軽減される人の所得の範囲を拡大します。

対象者には、7月中旬に保

険料額を通知します。

問い合わせ先 困保険料課 ☎30・6145番、FAX 22・1398番、滋賀県後期高齢者医療広域連合 ☎077・527・3013番

申請受付を開始します 彦根市介護福祉士育成応援補助金

■ 困 介 護 福 祉 課

市内の介護施設などで活躍する介護サービス従事者の確保と資質向上のため、介護福祉士の資格取得に向けた実務者研修の受講に要する費用の一部に対し、補助金を交付します。

- 対象者 次の①～④のすべてに該当する人
- ①交付年度内に実務者研修の受講を修了し、翌々年度内に介護福祉士の国家試験を受験する人
 - ②市内の介護施設などに勤務している人
 - ③国、県またはその他の機

低炭素社会推進トピックス 照明でのひと工夫

低炭素社会とは、二酸化炭素の排出量が少ない社会のことです。大気中の二酸化炭素の量が増えると、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に封じ込められ、温暖化が進みます。温暖化を抑制するためにも、低炭素社会を構築する必要があります。

低炭素社会を構築するためには、家庭や職場で使用する電力や燃料のエネルギー使用量を少なくして、二酸化炭素の排出量を削減することが大切です。

今回は、身近な照明の使用方でエネルギー使用量を減らす「ちよっとした工夫」を紹介いたします。

使用時間を短くしましょう

必要ないときや長時間外出するときは、灯りを消しましょう。

▼白熱電球(54W)の点灯時間を1日1時間短縮
↓年間約11kgの二酸化



関から実務者研修の受講料について助成などを受けていないこと

④申請時に納期限が到来している市税・国民健康保険料(税)に未納がない人

補助金額

①市内在住の人 受講料の4分の3(限度額:15万円)

②市外在住の人 受講料の2分の1(限度額:10万円)

申請方法 申請書に必要事項を記入、押印し、添付書類とともに困介護福祉課に提出してください。

※添付書類については困介護福祉課にお問い合わせください。

問い合わせ先 困介護福祉課 ☎23・9660番、FAX 26・1768番



炭素を削減、約530円(※)の電気代を節約

ただし、蛍光灯はあまりに頻りに点滅させるとランプの寿命が短くなる恐れがあるため、注意が必要です。

省エネ型の照明への買い替えを検討しましょう

白熱電球を使用している場合は、なるべく消費電力の低い電球型蛍光灯やLED電球への買い替えを検討しましょう。

▼白熱電球から電球型LEDランプに交換
↓年間約51kgの二酸化炭素を削減、約2,410円(※)の電気代を節約



また、明るさを調整できるインバーター式機器は用途に合わせて明るさを調節でき、省エネにもつながります。

照明器具の掃除に努めましょう

電球やかさが汚れると、照明の明るさが低下します。こまめに掃除することで、室内が明るくなるだけでなく、省エネにもつながります。特に、ダイニングやキッチンには汚れやすいため、こまめに掃除をしましょう。



※出典：経済産業省資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド」

問い合わせ先 困生活環境課 ☎30・6116番、FAX 27・0395番